

「平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における 防府市立小・中学校の結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

児童生徒の体力・運動能力及びこれらと関係の深い基本的な生活習慣の実態を明らかにすることで、体育・保健体育の指導及び児童生徒の心と体の健康づくりの基礎資料として活用する。

(2) 調査の時期

平成28年4月～6月

2 体力に関する調査結果について(小学校第5学年及び中学校第2学年)

防府市立小・中学校の児童生徒(小学校第5学年及び中学校第2学年)の平均値を全国・山口県の平均値と比較しました。

なお、全国の数値については、平成29年1月時点で国から届いている最新の数値(平成28年度版)を使用しています。

3 山口県の子どもの実態

平成28年度の全国調査の結果によると、山口県の子どもは、総合的な体力が中2女子で全国平均を上回り、体力合計点については、小5女子、中2女子で平成20年の全国調査開始以降、過去山口県最高値となりました。

特に反復横とび(敏捷性)、20mシャトルラン(持久力)は全国平均と比較して同値または上回っており、敏捷性や持久力に優れています。これまでの課題であった柔軟性については、山口県の昨年度の記録と比較して、すべての調査対象で上回り、小5男子、小5女子、中2女子でこれまでの最高値となりました。しかし、全国平均と比較してすべての対象で下回っており、引き続き課題です。

これらの実態から、平成28年度も、全県共通の課題として「柔軟性」の向上を目指した取組を、各校が独自に作成している体力向上プログラムの中に取り入れ、体育の授業時に実施していく予定です。

4 防府市の子どもの実態

(1) 小学校第5学年の結果

性別		握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横とび(点)	
		比較	平均	比較	平均	比較	平均	比較	平均
小5男子	防府市 H28	16.5		18.0		31.9		40.8	
	全国 H28	○	16.5	△	19.7	△	32.9	△	42.0
	山口県 H28	◎	16.2	△	19.2	◎	31.7	△	42.0
小5女子	防府市 H28	16.1		17.1		35.0		40.3	
	全国 H28	○	16.1	△	18.6	△	37.2	◎	40.1
	山口県 H28	◎	15.6	△	18.2	△	36.0	△	40.5
性別		20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		立ち幅跳び(cm)		ソフトボール投げ(m)	
		比較	平均	比較	平均	比較	平均	比較	平均
小5男子	防府市 H28	47.6		9.4		147.7		21.9	
	全国 H28	△	51.6	○	9.4	△	151.2	△	22.5
	山口県 H28	△	53.5	○	9.4	△	149.9	△	22.2
小5女子	防府市 H28	40.0		9.7		143.8		13.8	
	全国 H28	△	40.7	△	9.6	△	144.8	○	13.8
	山口県 H28	△	44.6	○	9.7	◎	143.3	◎	13.7

◎…上回っている ○…同じ △…下回っている



①男子の結果

- 全国または県の平均値を上回っている種目
握力、長座体前屈
- 全国及び県の平均値を下回っている種目
上体起こし、反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅跳び
ソフトボール投げ

②女子の結果

- 全国または県の平均値を上回っている種目
握力、反復横跳び、立ち幅跳び、ソフトボール投げ
- 全国及び県の平均値を下回っている種目
上体起こし、長座体前屈、20mシャトルラン

(2) 中学校第2学年の結果

性別		握力(kg)		上体起こし(回)		長座体前屈(cm)		反復横跳び(点)		持久走(秒)	
		比較	平均	比較	平均	比較	平均	比較	平均	比較	平均
中2男子	防府市 H28	27.1		26.0		40.5		53.0		403.4	
	全国 H28	△	28.9	△	27.4	△	43.0	◎	51.9	△	392.6
	山口県 H28	△	28.1	△	27.1	△	41.2	◎	52.4	△	390.3
中2女子	防府市 H28	23.0		23.1		44.8		48.0		288.4	
	全国 H28	△	23.7	△	23.4	△	45.5	◎	46.6	◎	289.3
	山口県 H28	△	23.4	△	23.3	◎	44.1	◎	47.2	△	286.3
性別		20mシャトルラン(回)		50m走(秒)		立ち幅跳び(cm)		ハンドボール投げ(m)			
		比較	平均	比較	平均	比較	平均	比較	平均		
中2男子	防府市 H28	86.6		8.2		188.3		19.8			
	全国 H28	◎	85.9	△	8.0	△	194.7	△	20.5		
	山口県 H28	△	89.5	△	8.0	△	190.6	△	20.0		
中2女子	防府市 H28	61.7		8.9		164.8		12.8			
	全国 H28	◎	58.5	△	8.8	△	168.2	○	12.8		
	山口県 H28	△	62.0	△	8.8	△	166.8	△	12.9		

◎…上回っている ○…同じ △…下回っている

①男子の結果

○全国または県の平均値を上回っている種目 反復横跳び、20mシャトルラン
●全国及び県の平均値を下回っている種目 握力、上体起こし、長座体前屈、持久走、50m走 立ち幅跳び、ハンドボール投げ

②女子の結果

○全国または県の平均値を上回っている種目 長座体前屈、反復横跳び、持久走、20mシャトルラン
●全国及び県の平均値を下回っている種目 握力、上体起こし、50m走、立ち幅跳び、

※ それぞれの種目では、次の体力・運動能力を調べることができます。

○握力…【筋力】	○上体起こし…【筋力・筋持久力】
○長座体前屈…【柔軟性】	○反復横跳び…【敏捷性】
○20mシャトルラン、持久走…【全身持久力】	
○50m走…【走る能力】	○立ち幅跳び…【跳ぶ能力】
○ソフトボール投げ・ハンドボール投げ…【投げる能力】	

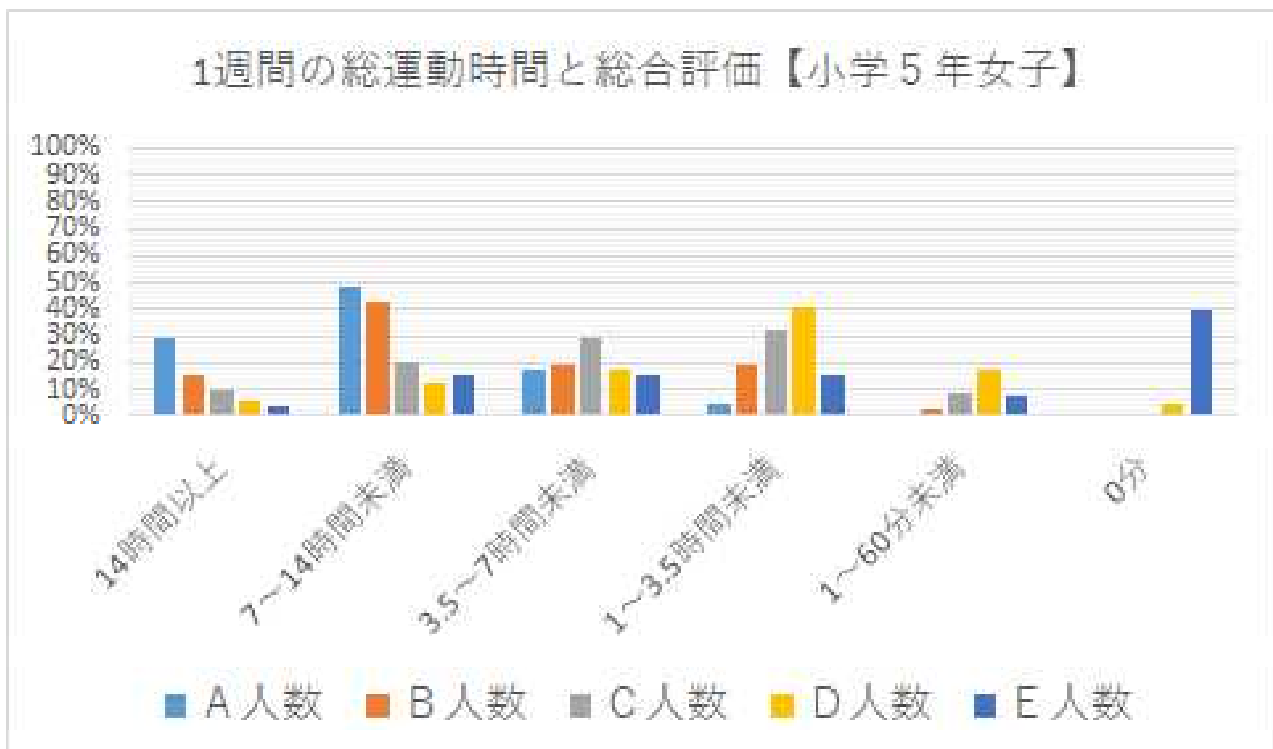
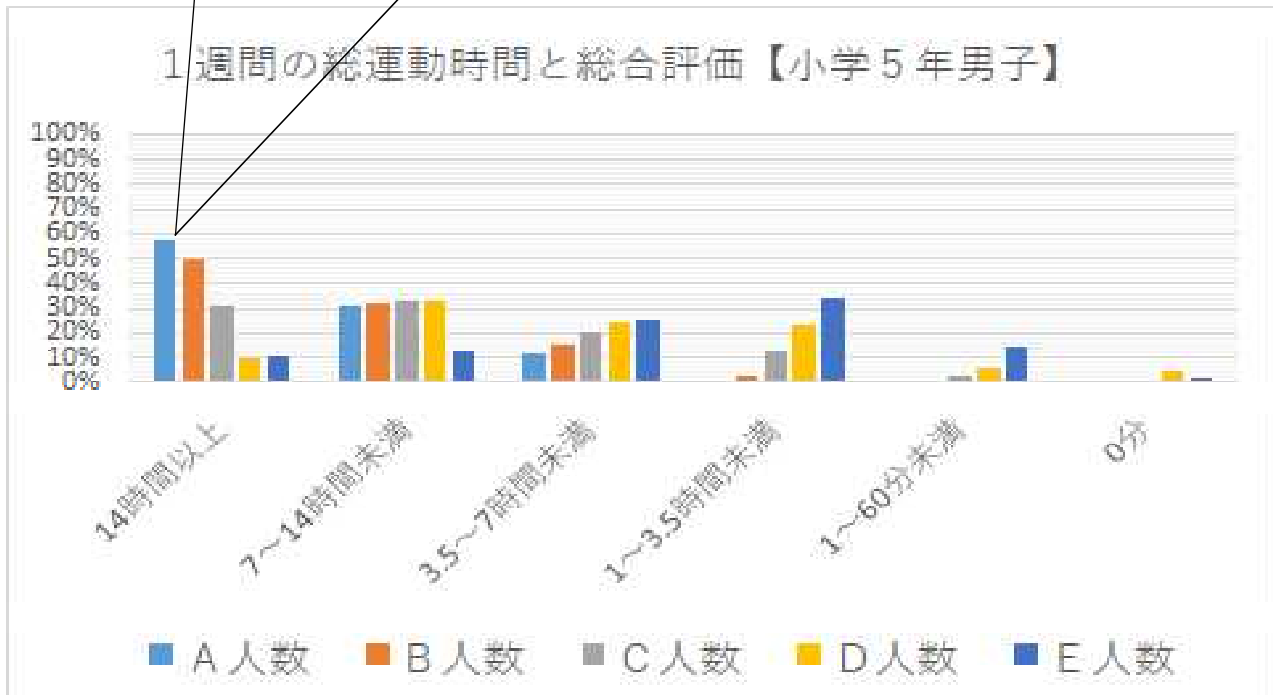
5 運動習慣や生活習慣、体力のクロス集計結果について

今年度の調査では、運動意識や生活習慣、体力には、次のような関係が見られました。

(1) 運動習慣と体力判定とのクロス集計結果

【グラフの見方】

この項目については、体力判定結果が『A』の子どものうち、一週間の運動時間が「14時間以上」の子どもが約60%、「7時間以上14時間未満」の子どもが約30%、「3.5時間以上7時間未満」の子どもが約10%であることを表しています。



1週間の総運動時間と総合評価【中学2年男子】



1週間の総運動時間と総合評価【中学2年女子】



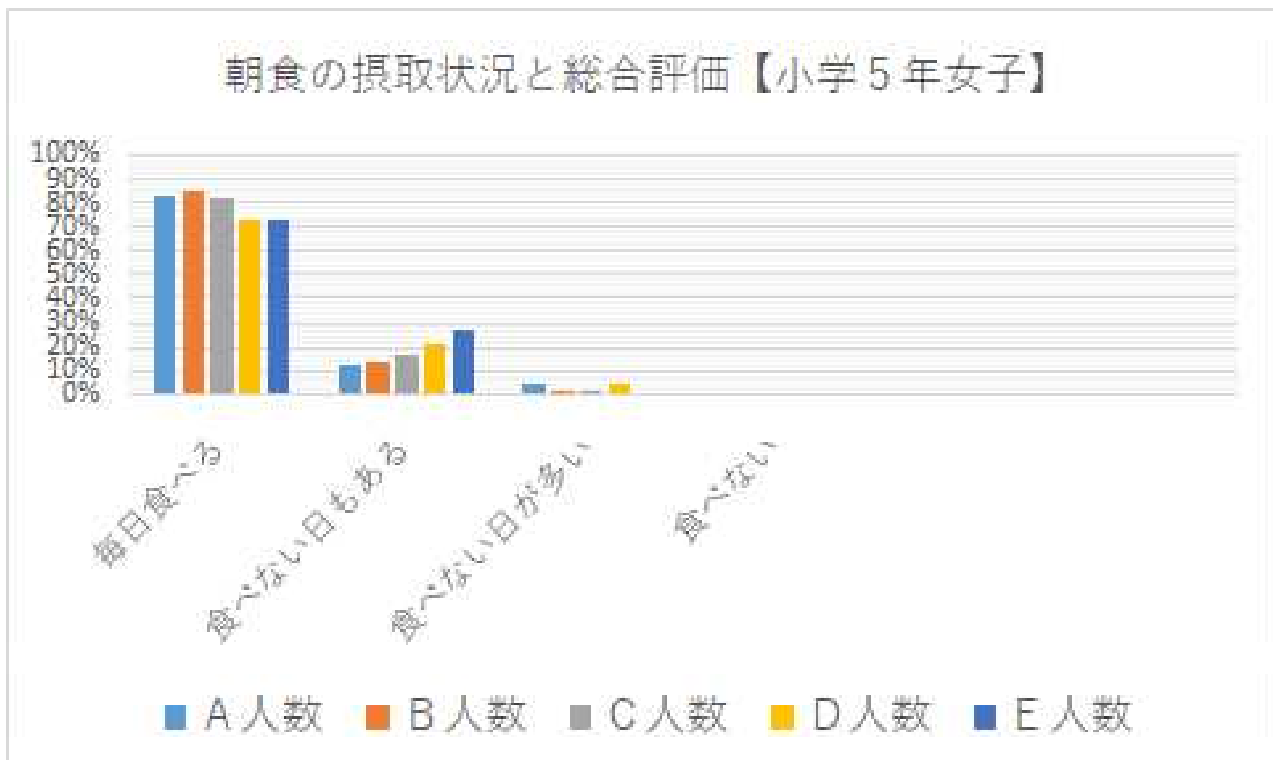
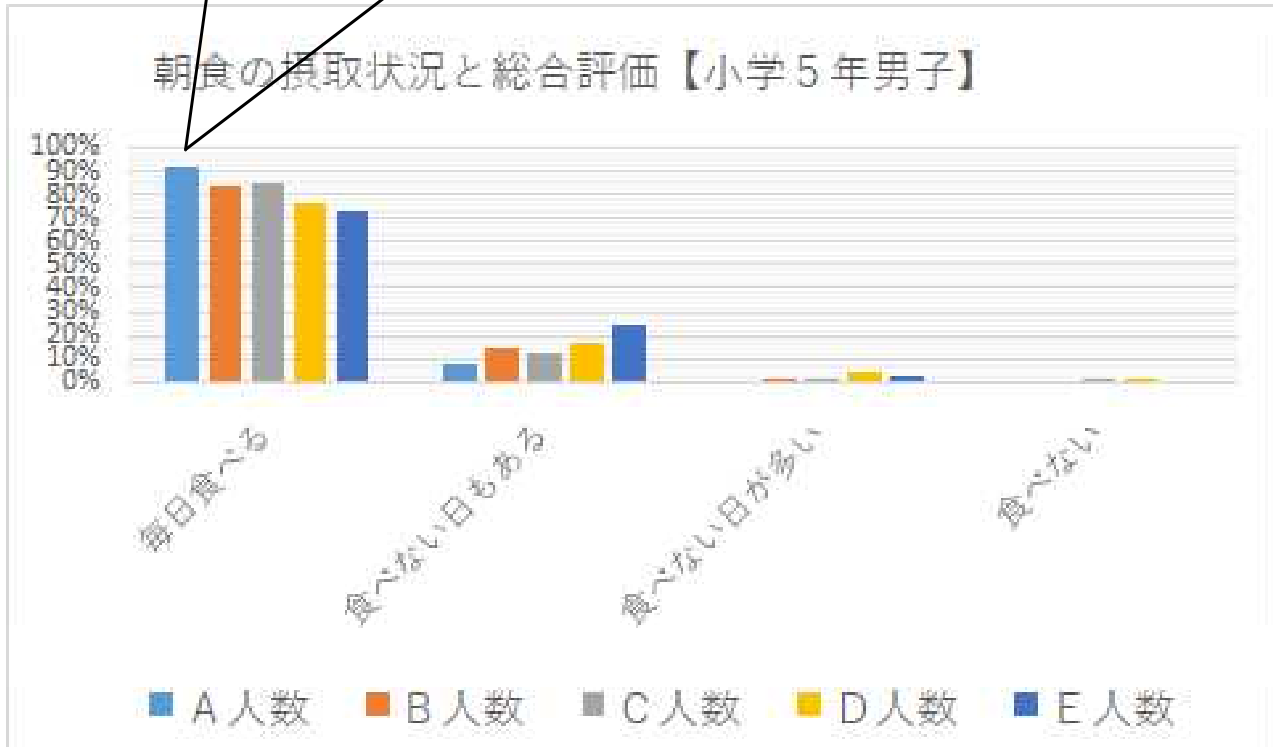
◇体力を高めるためには、ある程度のまとまった運動時間・運動量が必要です。体育の授業以外に、外遊びや自分でめあてを決めて行う体力づくりを奨励します。



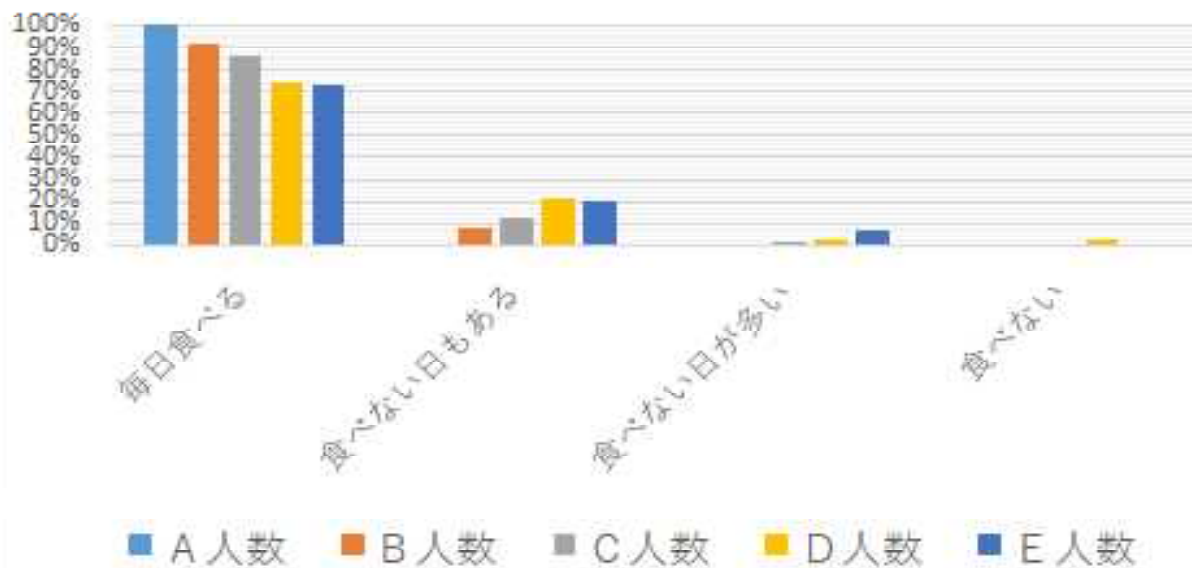
(2) 生活習慣と体力判定とのクロス集計結果

【グラフの見方】

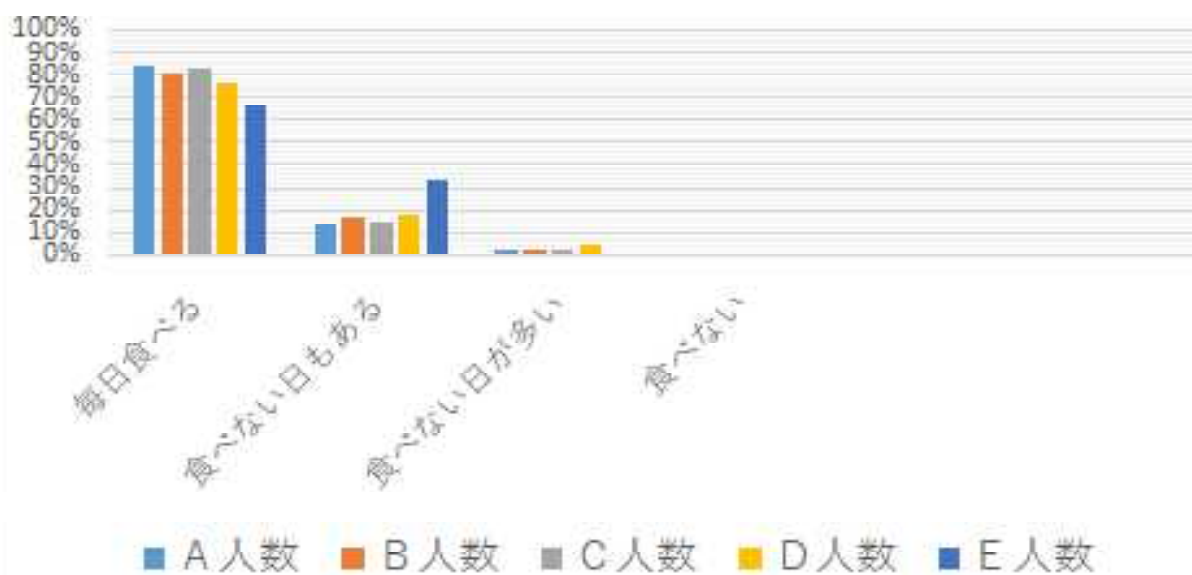
この項目については、体力判定結果が『A』の子どものうち「朝食を毎日食べている」子どもが約90%、「食べない日もある」子どもが約10%であることを表しています。



朝食の摂取状況と総合評価【中学2年男子】



朝食の摂取状況と総合評価【中学2年女子】

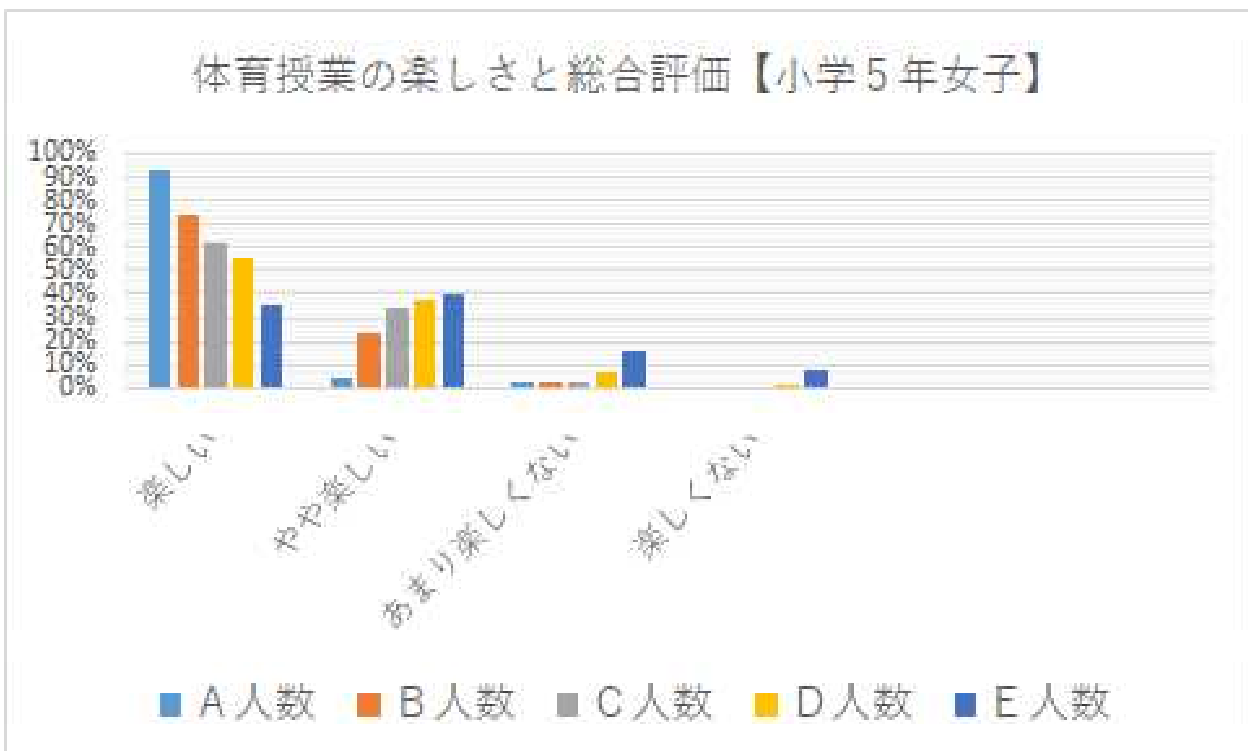
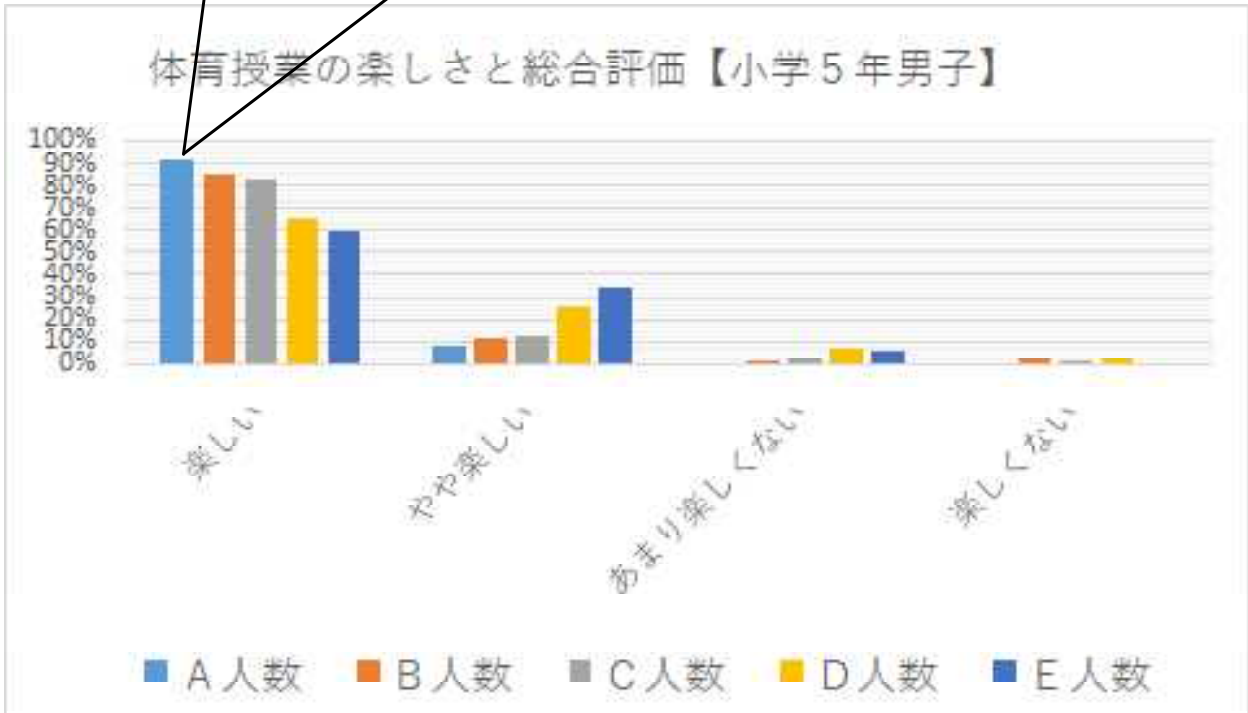


◇丈夫な体をつくるためには、栄養バランスのよい食事と規則正しい生活習慣が必要です。特に、朝食は、体温を上げ、体にエネルギーを補給する大切な役割がありますので、毎日しっかり朝食を摂りましょう。

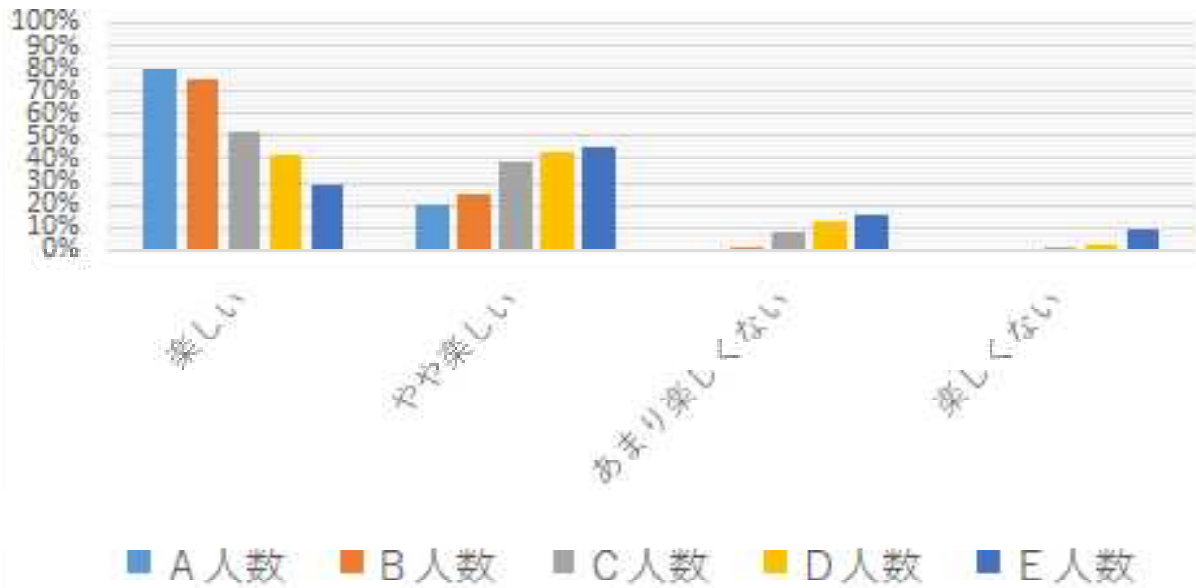


(3) 体育・保健体育授業の楽しさと体力判定とのクロス集計結果

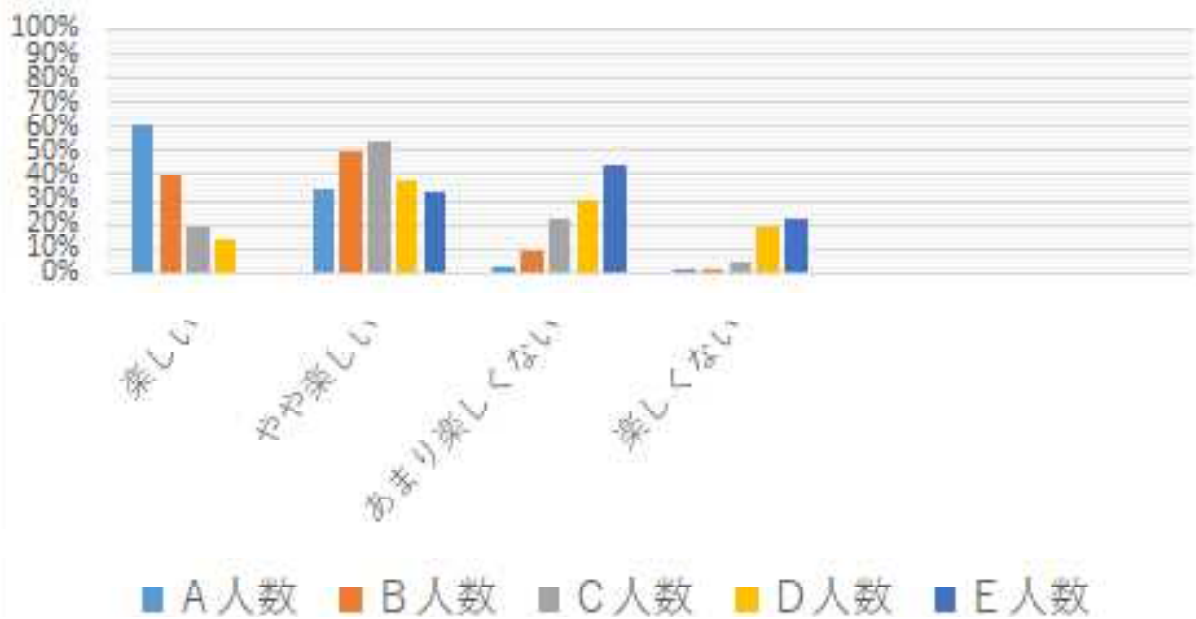
この項目については、体力判定結果が『A』の子どものうち、体育の授業が「楽しい」子どもが約90%、「やや楽しい」子どもが約10%であることを表しています。



保健体育授業の楽しさと総合評価【中学2年男子】



保健体育授業の楽しさと総合評価【中学2年女子】



◇子どもの体力を高めるためには、体育及び保健体育授業の充実が必要です。日々の体育及び保健体育授業が児童生徒にとってより一層楽しくなるよう、授業改善に努める必要があります。



6 今後の取組について

(1) 体育・保健体育の授業以外の時間の取組について

現在、防府市立小・中学校では、体力向上または運動習慣定着に向けた体力向上プログラムを作成し、1校1取組を行うなど体力向上を図っています。

児童会や生徒会が主催するスポーツ大会やクラスマッチも実施し、児童生徒が中心となって企画運営することで、生涯スポーツにつながるような取組も行っております。

また学校行事として、持久走大会や水泳記録会等を実施し、児童生徒の体力向上に努めております。

今後も、運動が好きな児童生徒を育てるために、体力向上または運動習慣定着に向けた取組を、継続していきます。

(2) 体育・保健体育の授業改善について

防府市教育委員会では、防府市内全ての小・中学校の教育力の平準化をめざした「防府市立小中学校の10の水準」を作成しています。以下に、「健康・体力を育む体育・保健体育授業」としての体育授業のポイントを示します。

- 体力テストの結果分析等から児童生徒の健康・体力向上に向けた活動を計画している。
- 健康・体力の向上のため、十分な運動量がある。
- 授業の中で、「めあて」と「振り返り」を意識している。
- 個々の学習課題に応じた場づくりをしている。
- 学習過程に、運動特性を支える技能の習得に向けた活動を位置付けている。
- 運動の習慣化を図る取組計画を作成・活用している。
- 児童生徒が運動の楽しさや喜びを味わうことができる。
- 豊かなかかわり合い、温かな励まし合いがある。

今後も、これらのポイントに沿って、体育の授業改善を図っていきます。

(3) 家庭へのはたらきかけについて

「平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果によると、家の人から運動やスポーツを積極的に行うことを勧められることが多い子どもほど、体力の判定結果が優れている傾向にありました。

今後も、学校と家庭が連携し、保護者に対してスポーツや運動の効果について積極的に情報発信していきます。

(4) 児童生徒の主体的な取組によるクラブ活動・部活動等の展開について

児童生徒の主体的な取組によるクラブ・部活動等の運営ができるよう、指導方法の工夫・改善を図り、生涯スポーツの土台づくりに努めます。